

東海大學日本語言文化學系校外實習心得報告 113 學年 1 學期

2024 年 12 月 25 日

學 號 / 姓 名	S101502〇〇
實 習 地 點	佳翠苑 皆美
實 習 期 間	2024 年 7 月 2 日 ~ 2024 年 12 月 25 日
實 習 心 得 內 容	<p>最初に担当したのはビュッフェの仕事で、バイキング料理の補充と最後の片付けだった。夜は外の鉄板焼き台で、お客様が注文した肉を各エリアに配ることと、翌朝のバイキングのセットを担当していた。</p> <p>最初はすごく緊張した。インターン生は私一人だけだったから、みんなの足を引っ張らないように、仕事の細かいところまで一生懸命覚えた。幸い、最初に仕事を教えてくれたのが台湾人だったおかげで、内容を早く理解することができた。</p> <p>その後、タイからインターン生が来て、初めて仕事の担当が変わった。外の仕事から料理口に移って、ネパールのスタッフに新しい仕事を学んだ。ここでは、各テーブルが何の料理を注文したのかを確認して、間違えないように気を付ける必要があった。この仕事を通して、集中力を保つことの大切さを学んだ。</p> <p>同時に朝の仕事も変わって、料理補充ではなく、レストランでお客様を席まで案内する仕事になった。一年生の時に習った敬語を思い出しながらやってみた。</p> <p>日本で一番長い祝日であるお盆が終わった共に、夜の仕事に新しい内容が追加された。それはドリンクの仕事だ。そこで初めてさまざまな日本酒について知って、簡単なカクテルの作り方も学んだ。この仕事では覚えることが多くて、ほとんど一人でやらなければならないから、忙しい時でも慌てず、自分のペースで正確にお客様が注文した飲み物を作ることが大事だと学んだ。前の私は、急な事態に直面すると焦って何をすればいいのかわからなくなることが多かったけど、ここでの経験のおかげで、心の持ち方が少しずつ成長したと思う。</p> <p>日本でインターンをするっていう決断は正しかったと思う。ここに来てから、多くのことを成長させた。ただ日本語を話す力が上がっただけでなく、精神的にも成長したと感</p>

じている。大学の時は家から通っていたから、一人暮らしをしたことがなかったけど、ここでは全部自分でやらなければならない。一人でも暮らしてできる方法を学んだ。また、台湾にいた時よりもお金の管理の重要性を強く感じるようになった。

仕事では、日本人が細かいことにこだわって、決まった SOP に従い、ミスなく仕事を進める姿勢を学んだ。この経験は、今後の仕事にもきっと役立つと思う。

實習活動照片
(4~6張)



仕事 1



仕事 2



9月飲み会



休館日を利用して、大山に行った



岡山城



広島城